令和3年5月1日発行
No.182
5月号

伊賀市社協だより

あいじあおう

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です

こんにちは、民生委員児童委員です。
生活上の心配ごと、困りごとをご相談ください。

民生委員・児童委員とは
地域住民の立場にたって地域の福祉を担うボランティアです。

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。
また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。

民生委員・児童委員は
いつもあたたかい目で、地域を見守っています。

地域の一員として、担当の地域で高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、
子どもへの声掛けなどを行っています。

民生委員・児童委員は
身近な相談相手・専門機関へのつなぎ役です。

医療や介護の悩み・妊娠や子育ての不安・失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、
ひとりで抱えていませんか？民生委員・児童委員は、様々な相談にのり、一緒に悩み、考えます。
そして、相談内容に応じ、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。
また、活動中に知り得た相談内容や個人の秘密を守り、個人の人格を尊重することをお約束します。

伊賀市民生委員児童委員連合会　（事務局／伊賀市社会福祉協議会 企画調整課 ☎21-5866）

5月12日は「民生委員・児童委員の日」です

令和２年度、新型コロナウイルスの影響により、
民生委員・児童委員の活動も大きく制約されました。
しかし、伊賀市内ではそれぞれの地域ごとに、
つながりを絶やさないための様々な取り組みが展開されてきました。

民生委員・児童委員は、「コロナだから仕方ない」ではなく、
「どうすればつながれるか」を考えながら活動しています。
地域の一員として、季節や天候、社会情勢を問わず、
担当の地域で高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、
子どもたちへの声掛けなどを行っています。

地区民生委員児童委員協議会の活動事例紹介

●上野北部地区民生委員児童委員協議会

府中地区　地元の小学校の福祉体験教室に参加し、手話体験、高齢者体験、車いす体験等を行いました。また、登下校安全パトロールを実施し、普段から地域の子どもたちと顔なじみの関係を築いています。

諏訪地区　12月に、ふれあい・いきいきサロンの参加者宅に訪問しました。新型コロナの影響でサロンが中止となったため、「このままサロン参加者に会えずに年が変わってしまうのは、あまりに残念」との思いから、安否確認も兼ねて訪問しました。たくさんの笑顔と元気をいただきました。

三田地区　8月に、未就園児と保護者の集いを開催しました。絵本の読み聞かせや風船ロケットづくり、保健師によるコロナ対策についてのお話などを楽しみました。コロナ禍でふれあう機会がない中でのイベントということもあり、参加者は少人数でしたが、楽しんでいただけたようです。

●島ヶ原地区民生委員児童委員協議会

新型コロナウイルスの影響により、あらゆる活動が縮小される中、例年楽しみにしている子どもたちとふれあう機会が減り、淋しい限りです。

毎年、社会福祉協議会島ヶ原地域センター、島ヶ原まちづくり協議会、老人クラブやボランティア団体が一緒になって、小学校低学年の子どもたちと、ジャガイモとサツマイモの植え付けと収穫活動をしています。

身近な野菜なのに、植え方や世話の仕方など初めて経験する子も多く、一緒に作業するのはとても楽しいひと時です。収穫された野菜は、民生委員の手で一人暮らし高齢者などに配り、地域の人たちとのつながりの種にしています。

地域のみなさんとお話をさせていただく中で、「民生委員って忙しいやろ」と気遣っていただくこともありますが、私たち民生委員は、心を亡くす〝忙しい〟ではなく、むしろ〝多くの心（気持ち）〟をいただいています。

おしえて★地域のふくし

その㊳「コロナ禍での社協の緊急支援活動」の巻

ぼく、三重県伊賀市の観光大使、いが☆グリオだぐりよ♪伊賀市に住んでいる小学校３年生として、だいすきな伊賀のふくしのこと、もっと知りたいぐりっ★

今月お答えするのは

４月より、社協事務局長に就任しました田邊です。コロナ禍での伊賀市社協の緊急支援活動についてお答えします！

昨年から、新型コロナウイルスの影響で、いろいろ大変だったぐりね。伊賀市で住んでいるみんなに、影響はあったぐり？

そうですね。みなさん感染予防のために外出をひかえることで、人との会話やつながりの減少、運動不足、学習機会の減少、働き方の変化、介護や育児負担の増加など、みなさん少なからず何らかの影響を受けたと思います。

社協が行ったアンケートでは、市内サロンの９割が感染拡大時に中止となったほか、子育てサロンの約半数の世帯が、「収入が減った・減る見込み」との回答でした。また、「仕事が見つからない」、「収入が減って、住まいや食べるものがない」といった相談も多く、新たな生活課題が出ています。

そうぐりか！社協は伊賀市民のみんなのために、どんなことをしたぐりか？

まずは、新型コロナの影響によって発生した市民のみなさんの生活課題に対し、出来る限りの対策をしないといけないと考えました。素早く対策活動を行うにはお金が必要となったため、市民のみなさんに寄付を募ったところ、おかげさまで 600 万円を超えるお金と食糧などの協力をいただきました。ご寄付や社協会費を活用させていただき、今日食べることや住むところに困らない、つながりが途切れないように、といった支援活動を行っています。

緊急支援活動の一例

ナルホド！食べること、住むこと、つながること・・・生きていくためにとても大切なことだぐり！ 困った時こそ、たすけあいだぐりね！

そうですね。今もまだ収束がみえず、世界的な問題となっている新型コロナによって、今後さらに様々な問題が表面化してくると予想されます。
社協は、子どもの学習格差や孤立や孤独を感じる人を減少するなど、コロナによって起こった生活課題に対し、みなさんの力をお借りしながら出来る限りの対策に取り組んでいきたいと思います。ぜひ、みなさんの力を貸してください！

みんなで協力して、一日も早く新型コロナが収束する日がくるといいぐりね！
みんなでコロナを乗り越えたとき、伊賀市のみんなのつながりや助けあいが、より一層強くなっていることを願っているぐりよ！

生活上の課題を持つ人が少なくなることを目指して

令和3年度 伊賀市社会福祉協議会 事業計画

●新型コロナと生活への影響

新型コロナ感染症の感染拡大は、市民生活に大きな影響を与えています。仕事が激減することによって生活困窮者の急増や、感染予防のための人と人の距離を空けるための取り組みが、関係性の距離になってしまう恐れが高まっていることなど、リーマンショックの時以上の量と質を伴う社会課題が明らかになってきています。

感染拡大防止の観点から、制約されてしまった人と人とのかかわり、生きがいや意欲、地域社会とのつながりについて、もう一度社会の絆のあり方を再考し、ウィズコロナ時代における新たな福祉のあり方を構築し、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて努力していかなければならないと考えています。

●令和３年度の社協事業方針

令和３年度は、第４次伊賀市地域福祉計画が策定されます。伊賀市社協では、地域住民等が地域福祉に参画して地域課題を解決する第４次伊賀市地域福祉活動計画と、それを推進するための当会の組織体制などを整える第３次伊賀市社協 経営基盤強化計画を令和３年６月に策定予定です。

また、経営基盤強化計画の策定を進める中で、組織的課題（ヒト・モノ・カネ）及び法令遵守の課題も明らかになってきました。当会は、行政はもとより市民や地域活動団体、社会福祉法人、企業等の協力を得て、次のことを着実に進めます。これらを実行するための組織的課題の解決と法令遵守（コンプライアンス）、内部統制を強化します。

基本方針（抜粋・要点）

●地域福祉を支える体制づくり

- 生活課題解決への対策を進める
- 地域支援を進めるための組織変更
- 生活課題解決支援（ファンドレイジング）の推進強化

●持続できる組織づくり

- 当会が担う介護サービスの方向性の検討
- 介護サービス等活動拠点の見直し

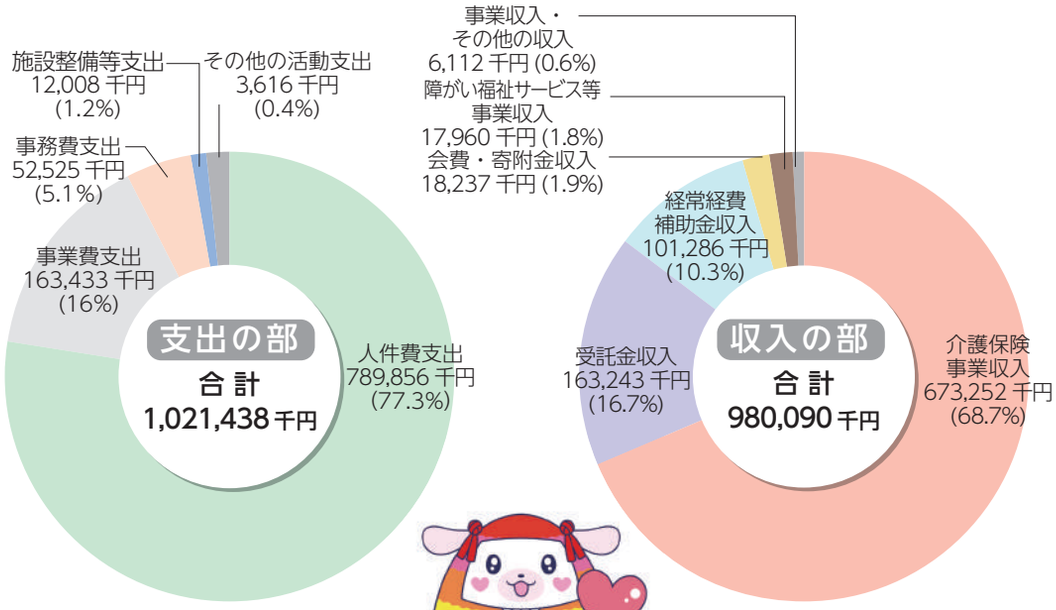
●財務状況の改善

- サービスの収益性を高める経営基盤強化
- 生活課題解決のための財源確保
- コスト意識の醸成

●法令遵守（コンプライアンス）、内部統制の強化

- 良質なサービス提供のための委員会設置
- 人財育成と次代継承に向けた組織づくり

令和３年度 伊賀市社会福祉協議会 予算



収入の部と支出の部の差額は、
当期資金収支差額となります。

＊季節の変わり目ですね＊

羽毛製品が募金になります。

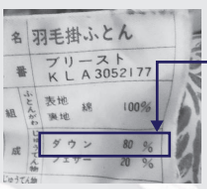
県内市町実績第2位

令和２年度 募金実績額 **42,880円**

羽毛布団	ダウンジャケット
113枚	34枚

回収された羽毛製品が募金になり、じぶんのまちに使われます。

三重県明和町にある企業「エコランド（有）」が、使わなくなった羽毛製品を回収し、町内の障がい者就労支援施設に解体を委託し、大手羽毛メーカーが洗浄して高品質な羽毛に仕上げます。羽毛製品をリサイクルすることで、「羽毛の安定供給」や「環境の保全」「障がい者就労支援」などに貢献し、募金がじぶんのまちに使われます。



○ ダウン率50%以上
○ 穴があいている
○ 汚れている
× ダウン率50%未満
× 濡れている
× 綿・ポリエステルフェザー布団 枕・クッション は回収できません

じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

個人、地域、団体、企業、学校で・・・
羽毛製品の回収に、ご協力ください

UMOU PROJECT 三重県共同募金会

○羽毛製品がございましたら、最寄りの社協各地域センター（伊賀市共同募金委員会）までお持ちください。お持ち込みが困難な場合は、お気軽にご相談ください。

上野地域センター☎21-1112　いがまち地域センター☎45-1012　島ヶ原地域センター☎59-3132
阿山地域センター☎43-1854　大山田地域センター☎47-0780　青山地域センター☎52-2999

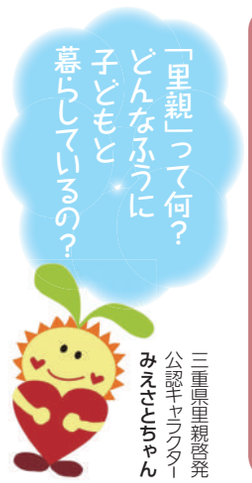
消費者トラブル撲滅！劇団〝いが悪徳バスターズ〟

わたしたちの身近で起こりうる消費者トラブル。未然に防ぐためには、市民参加で撃退するしかない！と、伊賀市社協が平成18年から開催した「いが悪徳バスターズ養成講座」の修了生により「劇団〝いが悪徳バスターズ〟」は、結成13年を迎え、13名のメンバーが活動しています。

これまでの地域のサロンなどでの公演回数は169回。テーマは「点検商法」にはじまり、「振り込め詐欺」「おばあちゃん助けて詐欺」「還付金詐欺」「キャッシュカード詐欺」など、トラブルの傾向に応じた事例と対応方法を寸劇でわかりやすく紹介しています。

今年1月には、社会にあたたかな心の輪を広げたとのことで「小さな親切」運動三重県本部より実行章が贈呈されました。劇団員も募集していますので、一緒に活動しませんか。公演依頼などのお問い合わせは、伊賀市社協企画調整課（☎21-5866）まで。

里親説明会開催



三重県里親啓発公認キャラクター
みえさとちゃん

さまざまな理由で保護者と一緒に暮らせない子どもたちと、泣いたり笑ったり、悩んだりしながら暮らしている里親さんのお話を聞いてみませんか？

みなさまお気軽にお越しください。

【日時】**6月11日（金）**10時～11時30分

【場所】伊賀市総合福祉会館

【内容】①里親制度のこと
②里親体験談 ③質問コーナー

里親に関心のある方、里親さんのお話を聞いてみたい方、子どものために何かしたいなと思っている方、どなたでも！

【申込】開催日前日まで
※託児はありませんが、お子様と一緒に参加できます。

【申込方法】電話やFAXまたはメールにてお申込みください。

【定員】30名

【申込・問合せ先】
（福）名張厚生協会
里親なんでも相談所「ほっこり」
☎41-1144・FAX63-0721
メール n.satooyahokkori@n-kosei.jp

介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修（通信講座）受講生募集

福祉・介護職場の人材不足を改善するため、働いていない方を対象に介護職員初任者研修及び生活援助従事者研修の受講生を募集します。

【応募要件】三重県に住民登録をしている働いていない方で、概ね70歳未満の方。研修修了後、福祉・介護職場で働ける方。

【募集定員】各39名
（応募者多数の場合は抽選）

【受講料】無料（テキスト代は自己負担）

【受講方法】テキスト等学習とレポート課題提出、実技科目はスクーリング

【スクーリング会場】三重県社会福祉会館（津市桜橋2-131）

●生活援助従事者研修（通信講座）
《1回目》
【募集期間】5月7日（金）～6月2日（水）必着
【研修期間】6月29日（火）～8月31日（火）

●介護職員初任者研修（通信講座）
《第1回》
【募集期間】5月7日（金）～7月16日（金）必着
【研修期間】8月10日（火）～11月12日（金）

【申込・問い合わせ先】
三重県福祉人材センター
介護職員初任者研修担当
☎059（227）5160

自分らしく踏み出す一歩

働きたい悩みを抱えている人とその家族を支援しています。

▶サポステ(15～49歳)

サポステとつながろう！

●コミュニケーション講座●
「コミュニケーション力の向上」
5月14日(金) 10:00～11:30
ハイトピア伊賀3階 セミナールーム

✤就職相談
✤各種講座
利用無料 要予約

仕事にいかせる!!
無料パソコン講座
【ワード】5月14日(金)/17日(月)
時間 13:00～15:30
【エクセル】5月19日(水)/21日(金)/24日(月)
時間 13:00～16:00

ハローワーク伊賀 出張相談日
5月18日(火) 13:00～16:00

若者の職業的自立のための総合相談窓口
サポステ
いが若者サポートステーション

☎&FAX／0595-22-0039
✉ iga-saposute@npo-en.or.jp
伊賀市上野丸之内500 ハイトピア伊賀3階
■開所日／月～金 9:00～17:00（土日祝・年末年始は休み）

今日からできる 簡単手話講座

＊おめでとう＊

指を上に向けてつまんだ両手を5指を上へ上げながら開く

伊賀市健康福祉部障がい福祉課 ☎22－9657

市民ふくし大学講座

◇この講習会は、市民ふくし大学講座 専門講座として認定されます。

基礎講座 ＋ 専門講座 ▶

シニアのための…“いきいき教室”

いつまでも元気で暮らしたい・・・誰もが望むことです。2025年には65歳以上の5人に１人が認知症になるといわれていることからも、認知症予防をテーマとした講座を開催します。　★今回で６回目の開催ですが、内容は今までとほぼ同じです。

定員 30名　参加費 無料

■回数	■開催日	■教科内容	■講師
第１回	6月19日（土） 13:30～15:00	開校式・「認知症サポーター養成講座」 ・「地域における見守りについて」	伊賀市地域包括支援センター 伊賀市社会福祉協議会
第２回	7月24日（土） 13:30～15:00	認知症についてどれくらい知っていますか？ ～認知症の理解と対応～	平尾 文雄(上野病院院長)
第３回	8月28日（土） 13:30～15:00	仮）睡眠のはなし	藤井 勇佑(精神科診療部長)
第４回	9月18日（土） 13:30～15:00	食べ物と認知症との関係 ～食生活で気をつけること～	竹内 恵美子 (管理栄養士･精神科認定栄養士)
第５回	10月16日（土） 13:30～15:00	終活のおはなし ～避けては通れない死について考える～	乾　陽子(看護師)
第６回	11月20日（土） 13:30～15:00	認知症と生活習慣について ～病気とうまく付き合っていくために～	杉島 珠実(認知症認定看護師)
第７回	12月11日（土） 13:30～15:00	脳を活性化するプログラム 修了式	奥谷 佳緒里 (リハビリ部部長・看護師)

○会場／上野病院クリニック棟２F
(伊賀市四十九町2888) ※無料駐車場有

○対象者／伊賀市内にお住まいの65歳以上の方

○申込期間／5月6日(木)～５月31日(月)
お電話またはFAXにて、住所・氏名・電話番号をお知らせください。
※申込期間内でも、定員に達した時点で締め切り。

○修了／５回以上の参加で、修了証書を発行します。

○その他／体を動かしやすい服装でお越しください。
筆記用具、1回目に配布する「いきいき教室」のファイルを毎回ご持参ください。

【感染対策をお願いします】
●教室参加日は必ず体温を測定し、37.0度以上あるときはお休みしてください。
●マスクを着用してお越しください。
●新型コロナウイルス感染症の感染状況にて中止になる場合があります。

お申し込み・連絡先　上野病院　一般財団法人 信貴山病院分院　上野病院　担当：奥谷・乾
☎0595-21-5010／FAX 0595-21-5100

■主催／一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院　■共催／伊賀市地域包括支援センター・伊賀市社会福祉協議会

国土交通大臣認定

「移動・送迎サービス運転協力者講習」及び「セダン講習」受講者募集!!

●令和３年度 第１期講習 !!
●定員30名（定員になり次第締切）

◆日　時／令和３年 **５月22日（土）・23日（日）8:30～17:30**　※２日間通して受講が必要
◆場　所／いがまち保健福祉センター「愛の里」（伊賀市愛田 513）
◆受講料（資料代を含む）／伊賀市・名張市在住在勤の方 10,000 円
その他の方 12,000 円
◆申込・問い合わせ先／いが移動送迎連絡会事務局（伊賀市社協内）
☎21-5866・FAX26-0002
※申込用紙は伊賀市社協各地域センターで配布または FAX で送付
伊賀市社協 HP からダウンロード可▶http://www.hanzou.or.jp/

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、延期する場合があります。

数字で見る伊賀市の福祉

令和３年2月末現在（前月比）

伊賀市の人口	▶ 89,546人	（－143人）
65歳以上の高齢者	▶ 29,637人	（－ 4人）
高齢化率	▶ 33.1％	（ ±0％）
75歳以上の高齢者	▶ 15,553人	（－36人）
後期高齢化率	▶ 17.4％	（ ±0％）
介護保険認定者数	▶ 6,135人	（－26人）

※集計処理の関係で、前々月末日時点の数値となります。
※伊賀市の人口、65 歳以上の高齢者及び高齢化率、75 歳以上の高齢者及び後期高齢化率には、外国人住民を含めています。
※ 75 歳以上の高齢者の全人口に占める割合を、後期高齢化率と表記しています。
※介護保険認定者数は要支援・要介護認定者数です。

あなたのまちのふれあい・いきいきサロン No.168

「須原元気作りサークル」

メンバー数／区民全員
開催場所／須原公民館
開催頻度／月２回

須原元気作りサークルは、代表の廣塚さんが、健康のために介護予防リーダー養成講座を受講したことをきっかけに、地域住民にサロン開設を提案し、平成 26 年１月に始まりました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染防止のため計画通りにできませんでしたが、月２回、筋トレやストレッチ・有酸素運動・ヨガなどの体操をしています。また、例年年末には世代間交流を行い、たこやきパーティーなど子どもから高齢者まで、みんなで盛り上がっています。昨年は地域の協力を得て、感染予防に配慮しながら楽しく元気につながる場を考え、「寄せ植え教室」を開催しました。

定期的に集まって顔を合わせる場があることで、日常生活がより生き生きとなることに役立っています。代表の廣塚さんは、「若い方の参加も得られ、ありがたい。みなさんの声も聞きながら継続していければうれしいです。」と笑顔で話してくれました。

我ら！ふくしレンジャー No.177

栗原（くりはら） 喜代子（きよこ）さん
BON 代表

●活動を始めたきっかけ

田舎の古民家・農家暮らしに憧れて、７年前に津市から約3,000 坪の石川地内の里山に移住しました。素晴らしい景観と自然環境に恵まれ、毎日の暮らしの中で自然に触れ合える喜びと感動を味わっています。現役時代は保健師だったので、皆様の心と体の健康に寄与していきたいと願っています。

●活動内容

民泊事業（キャンプ場併設）、オーガニック農園、障がい者就労外勤作業の受け入れ、各種農村体験型イベントを企画運営しています。体験教室では、季節に応じて味噌や干し芋・ベーコンづくり、農作物収穫、かまど、石窯ピザ体験等ができます。

●今後の抱負

これから３年間を目標に、園芸福祉、食育、地産地消、世代間・他分野の交流をテーマに、障がい者、高齢者、子どもなど様々な人が生産と消費に関わり「生きる力」を育めるしくみづくりに挑戦します。将来は精神科病院とも連携を図り、患者さんの治療にも役立てたいと考えています。

編集後記

表紙は、城西地区民生委員児童委員協議会が、昨年「民生委員児童委員の日」にあわせて行った、街頭啓発活動の様子です。社協としても、地域福祉をすすめるパートナーとして、民生委員児童委員のみなさんの存在はとても重要です。

編集・発行 伊賀市社会福祉協議会

本部
〒518-0829　平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館１階
☎0595(21)5866／FAX0595(26)0002

地域センター
上野
〒518-0829　平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館１階
☎0595(21)1112／FAX0595(21)8123

いがまち
〒519-1413　愛田 513 番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」
☎0595(45)1012／FAX0595(45)1050

島ヶ原
〒519-1711　島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」
☎0595(59)3132／FAX0595(59)3145

阿山
〒518-1313　馬場 1128 番地の１ 阿山保健福祉センター
☎0595(43)1854／FAX0595(43)1577

大山田
〒518-1422　平田 656 番地の１ 大山田福祉センター
☎0595(47)0780／FAX0595(46)1165

青山
〒518-0226　阿保 1988 の１番地 青山福祉センター
☎0595(52)2999／FAX0595(52)3555

●この広報誌は、社協会費、有料広告費等により発行しております。